

(第2号報告)

2025年度 事業計画書

(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

公益社団法人 日本アロマ環境協会

情報過多、スピード重視、そして複雑化する人間関係の中で、現代社会の人々のストレスは増加の一途を辿っています。その結果、心身のバランスを崩し、健康を損なう人が増えている現状は、社会全体の課題と言えるでしょう。同時に、地球温暖化、海洋プラスチック問題、森林破壊等、地球環境問題は深刻化し、私たちの生活や未来を脅かしています。持続可能な社会の実現に向けて、一人ひとりが環境問題を自分事として捉え、行動していくことが求められています。

このような時代において、アロマテラピーは、人々の心身の健康に役立つだけでなく、持続可能な社会の実現にも貢献できる可能性を秘めています。自然の植物から抽出された精油の香りは、五感を刺激し、心身に働きかけることで、心身のバランスを整え、健康的な生活をサポートする可能性が示唆されています。また、アロマテラピーは、環境負荷の低減に寄与し、持続可能な社会の実現にも貢献することができます。

A E A Jは、“アロマで人も地球も幸せな未来を創造し、人と信頼できる情報の出会いの場を提供すること”を存在意義とし、アロマテラピーの社会的な認知度向上と、人々の心身の健康への貢献、そして持続可能な社会の実現を目指し、以下のような取り組みを強化します。

- 科学的根拠に基づくアロマテラピー普及のため、研究活動を支援し、その成果を広く社会に発信することで、アロマテラピーに対する理解を深めます。
- アロマテラピーを教育現場や職場環境で活用することのメリットを広く社会に発信し、その普及と導入を促進することで、人々の心身の健康増進に貢献します。
- 環境カオリストの育成やグリーンテラスでのイベント開催を通じて、自然環境の大切さを啓発するとともに、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化します。
- 会員の皆さんに対して、アロマテラピーに関する最新の情報や質の高い学習機会を提供することで、会員の皆さんの知識・技術の向上を支援します。

会員の皆さん、一人ひとりの積極的な参加と貢献が、アロマテラピーの普及と発展、そして持続可能な社会の実現へつながる力となります。A E A Jは、会員の皆さまとの絆を大切にし、共に成長し、社会に貢献できるよう努めてまいります。

I 基本方針

アロマテラピーの健全な普及・発展を図り、地球環境の保全、人々の心身の健康に寄与することを根幹とし、以下の事業を推進します。

1. 植物とその香りの恵みある地球環境の保全に寄与する事業活動への取り組み
 - ・環境保全、とりわけアロマ環境の保全・創造に寄与する取り組みを図るため、SDGsの観点から環境カオリストの育成を推進します。
 - ・A E A Jグリーンテラスを起点とし、植物を育む自然環境を学ぶワークショップやイベントを実施します。
2. サイエンス・学術研究の充実、プロフェッショナルな資格のリニューアルによる会員資格の魅力向上と新たな会員価値創出の取り組み
 - ・アロマサイエンス研究所を中心に、学術研究や調査を通じて、アロマテラピーの科学的根拠とその効果を明らかにし、有意義なエビデンスを発信します。
 - ・文献調査を通じて、アロマテラピーフィールドの最新学術情報を収集・整理します。

- ・新たな学術的知見や資格取得のニーズを踏まえ、資格取得を推進します。
3. アロマテラピーに関する情報発信や協会広報活動の取り組み
- ・メディアへのプレスリリースの配信やセミナー開催等、A E A J の認知度と価値を高める広報活動を推進します。
 - ・A E A J グリーンテラスを活用したイベントや、S N S 、動画配信を通して、アロマテラピーの普及に繋がる情報発信を強化します。
4. アロマテラピーを学ぶ機会とその活用提供の取り組み
- ・アロマテラピーの魅力、心身の健康に役立つアロマテラピーの活用法を発信し、全国の法人正会員との連携を図ります。
 - ・質の高いアロマテラピーの学びの場としてアロマ大学をグリーンテラスとオンラインで実施し、多くの皆さまが参加できるよう整備します。
 - ・会員のつどいを企画します。
 - ・アロマテラピー検定、環境カオリスタ検定、ナチュラルビューティィスティリスト検定等を通じて広く学べる機会を提供します。
 - ・会員や企業、学校、団体と協力し、A E A J 資格の認知を高め、会員の資格活用の創出を推進します。
 - ・アロマテラピー賠償責任保険の補償内容、法人正会員企業等の特典等を案内し、危機管理体制を構築します。
5. 情報セキュリティ体制の整備とガバナンス強化の取り組み
- ・情報管理システムを整備・構築し、会員の利便性を高めます。
 - ・会員の資格の価値を高めるため、デジタル化を推進します。
 - ・情報管理システムの管理を徹底し、個人情報管理体制を強化します。
 - ・健全、且つ、効率的な協会運営を実施するため、事務局の組織体制を構築し、働きやすい労働環境を整備します。

II 事業活動

2025年度は、以下の事業活動を行います。各事業の詳細の実施時期、内容においては、各種広報物を通じてご案内いたします。

1. 公益目的事業 1

1. 育成事業

- ・アロマテラピーに関する各種セミナー、イベントの企画と運営
- ・アロマテラピーの安全で安心な活用を促進するための教育プログラムの開発
- ・植物を育むアロマ環境を学ぶワークショップの実施
- ・資格取得者向けの継続的な学習機会の提供
- ・資格者支援に関する事業の実施（動画配信サービス等）

2. 普及事業

- ・「アロマ大学」の企画と実施
- ・香育普及に係る事業の企画と実施
- ・A E A J グリーンテラスにおける展示、体験コーナー、ライブラリーの運営
- ・子どもたちを対象としたアロマテラピートラベル教室の開催
- ・地域住民向けのアロマテラピー講座の開催

3. 広報事業

- ・環境カオリスタ育成のための広報活動
- ・アロマテラピーの普及のための広報活動
- ・メディア向けプレスリリースの配信等を通じたパブリシティ活動の企画と実施
- ・プレス向けセミナー等を通じたアロマテラピーや学術情報の普及
- ・A E A J 公式サイトの運営、更新
- ・オウンドメディア「sense of AROMA」の運営、更新

- ・特設サイトを活用した情報発信等の実施
 - ・A E A J 公式S N S の運営
 - ・会員向けの情報誌の発行
 - ・各種パンフレット等広報ツールの整備と活用
 - ・アロマテラピーの普及に繋がるA E A J グリーンテラスの広報活用
 - ・その他、広報宣伝活動の企画と推進
- 4 . 資格検定事業
- ・環境カオリスタ検定の実施
 - ・アロマテラピー検定1級・2級の試験実施、及び、資格認定
 - ・アロマテラピーアドバイザー認定講習会の実施、及び、資格認定
 - ・アロマテラピーインストラクター、アロマセラピスト共通学科試験の実施
 - ・アロマテラピーインストラクター資格試験の実施、及び、資格認定
 - ・アロマセラピスト学科試験・実技試験・カルテ演習の実施、及び、資格認定
 - ・専科資格（アロマブレンドデザイナー、アロマハンドセラピスト）の運営、及び、資格認定
 - ・トリートメント実技登録試験官講習の実施
 - ・認定スクール制度の運営
 - ・「A E A J 表示基準適合精油」認定制度の運営
 - ・環境カオリスタ検定、アロマテラピー検定、アロマテラピーインストラクター資格試験、アロマセラピスト学科試験、アロマテラピーインストラクター、アロマセラピスト共通学科試験の試験問題作成、及び、精査
 - ・検定・資格運営等の見直し
 - ・新資格の検討と企画
- 5 . 学術研究等事業
- ・アロマサイエンス研究所の活動
 - ・研究費助成制度の運営
 - ・「アロマテラピー学雑誌」電子版の編集と発行
 - ・アロマテラピーの魅力を支える学術研究事業の企画と実施
 - ・研究成果の学会発表
 - ・各種イベントや発信媒体を通じた学術情報の発信
- 6 . 催事開催及びコンテスト事業
- ・「アロマの日」記念企画と普及活動
 - ・アロマテラピーに関する催事やコンテストの開催検討
- 7 . 調査事業
- ・アロマ市場調査の実施
 - ・S D G s 視点の精油生産現場の情報収集
 - ・その他、学術、及び、精油に関する調査・事業現場の情報収集
 - ・アロマテラピーに関する文献、調査関係資料等の収集
 - ・アロマテラピーに関する蔵書の充実
- 8 . 交流事業
- ・環境省やアロマ環境、アロマテラピー等に関連する団体との相互交流
 - ・国内外の学術団体との情報交換
- 9 . 職業紹介事業
- ・求人情報の掲出、発信
 - ・トリートメントモデルのマッチングサービスの運営
- 10 . 教材等制作事業
- ・各種資格検定教材の制作、発行、販売
 - ・資格検定教材の見直し

1.1. ボランティア事業

- ・ボランティア活動の支援に関する企画検討
- ・被災地支援活動

2. 収益事業1

- ・ナチュラルビューティィリスト検定の実施
- ・ナチュラルビューティィリスト検定試験問題作成、及び、精査
- ・ナチュラルビューティィリスト検定の広報活動
- ・ナチュラルビューティィリストの制度の見直し、企画等の実施

3. 収益事業2

- ・A E A J グリーンテラスの賃貸事業の実施

4. その他事業1

- ・アロマフェア事業実施の検討

5. その他事業2

- ・「会員のつどい」の企画と実施の検討

6. 法人管理

- ・会員の入会、及び、更新に係る業務の実施
- ・事務局体制の整備
- ・社員総会、理事会、委員会等の実施と運営
- ・業務全般のオンライン化に伴い、運営環境を整備

以上

令和7年度 収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計					法人会計	内部取引 等消去	合計
		収益1事業 (チャラルピューティ スタイル検定)	収益2事業 (賃貸事業)	その他1事業 (アロマフェア)	その他2事業 (会員のつどい)	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
①受取入会金		7,776,000					5,184,000		12,960,000
個人正会員入会金		6,696,000					4,464,000		11,160,000
法人正会員入会金		1,080,000					720,000		1,800,000
②受取会費		286,360,800					190,907,200		477,268,000
新規個人正会員会費		6,224,400					4,149,600		10,374,000
更新個人正会員会費		271,843,200					181,228,800		453,072,000
新規法人正会員会費		216,000					144,000		360,000
更新法人正会員会費		8,077,200					5,384,800		13,462,000
③事業収益		159,178,000	1,797,000	3,300,000			5,097,000		164,275,000
イベント収益		7,861,000							7,861,000
精油認定収益		94,000							94,000
公益物販収益		442,000							442,000
書籍類販売収益		10,606,000							10,606,000
カオリスト検定収益		591,000							591,000
アロマテラピー検定収益		97,743,000							97,743,000
アドバイザー収益		15,092,000							15,092,000
インセラ共通収益		4,021,000							4,021,000
インストラクター収益		6,507,000							6,507,000
アロマセラピスト収益		3,406,000							3,406,000
アロマブレンドデザイナー収益		2,519,000							2,519,000
アロマハンドセラピスト収益		6,112,000							6,112,000
認定スクール収益		3,809,000							3,809,000
チャラルピューティスタイル検定収益		1,797,000		3,300,000			1,797,000		1,797,000
賃貸事業収益		375,000					3,300,000		3,300,000
その他事業収益		887,000							375,000
④雑収益		374,000						26,000	913,000
受取利息		513,000						26,000	400,000
雑収益									513,000
経常収益計		454,201,800	1,797,000	3,300,000	0	0	5,097,000	196,117,200	655,416,000

令和7年度 収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

令和7年度 収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計					法人会計	内部取引 等消去	合計
		収益1事業 (チュラルピューティ スタイル検定)	収益2事業 (賃貸事業)	その他1事業 (アロマフェア)	その他2事業 (会員のつどい)	小計			
②管理費							38,781,000		38,781,000
給料手当							11,505,000		11,505,000
役員報酬							1,937,000		1,937,000
退職給付費用							195,000		195,000
福利厚生費							2,457,000		2,457,000
会議費							26,000		26,000
渉外費							1,000,000		1,000,000
旅費交通費							2,100,000		2,100,000
通信運搬費							429,000		429,000
新聞図書費							100,000		100,000
消耗品費							143,000		143,000
什器備品費							65,000		65,000
修繕費							13,000		13,000
印刷製本費							800,000		800,000
広告宣伝費							1,000,000		1,000,000
光熱水料費							182,000		182,000
保険料							130,000		130,000
委託費							897,000		897,000
保管料							26,000		26,000
諸会費							600,000		600,000
租税公課							1,118,000		1,118,000
支払手数料							572,000		572,000
顧問料							5,400,000		5,400,000
教育研修費							91,000		91,000
減価償却費							6,110,000		6,110,000
賞与引当金繰入額							1,300,000		1,300,000
退職給付引当金繰入額							455,000		455,000
役員退職慰労引当金繰入額							130,000		130,000
経常費用計		642,903,000	1,791,000	1,342,000	460,000	1,304,000	4,897,000	38,781,000	686,581,000

令和7年度 収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計					法人会計	内部取引等消去	合計	
		収益1事業 (チュラルピューティ スタイル検定)	収益2事業 (賃貸事業)	その他1事業 (アロマフェア)	その他2事業 (会員のつどい)	小計				
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 188,701,200	6,000	1,958,000	△ 460,000	△ 1,304,000	200,000	157,336,200		△ 31,165,000	
基本財産評価損益等		0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益等										
投資有価証券評価損益等										
評価損益等計		△ 188,701,200	6,000	1,958,000	△ 460,000	△ 1,304,000	200,000	157,336,200	△ 31,165,000	
当期経常増減額										
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計		0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用										
固定資産除却損						0			0	
経常外費用計		0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額		0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替前										
当期一般正味財産増減額		△ 188,701,200	6,000	1,958,000	△ 460,000	△ 1,304,000	200,000	157,336,200	0	△ 31,165,000
他会計振替額										
税引前当期一般正味財産増減額		△ 188,701,200	6,000	1,958,000	△ 460,000	△ 1,304,000	200,000	157,336,200	0	△ 31,165,000
法人税、住民税及び事業税							70,000		70,000	
当期一般正味財産増減額		△ 188,701,200	6,000	1,958,000	△ 460,000	△ 1,304,000	200,000	157,266,200	0	△ 31,235,000
一般正味財産期首残高										
一般正味財産期末残高									△ 31,235,000	
II 正味財産期末残高									△ 31,235,000	

※受取入会金、受取会費の割合は公益目的事業会計60%：法人会計40%

※受取利息の割合は、公益目的事業会計(93.5%)：法人会計(6.5%)

※その他事業費は法人会計を配賦割合により配布した。